

学問のすすめ

授業をよりよいものにするために

私たち教師は、「授業をよりよいものにしたい」「子供たちにとって分かりやすい授業をしたい」と考え、常に授業を目指し「授業改善」を行っています。本号では、そんな「授業改善」のために、先日行われた「校内授業研究会」についてお伝えします。

本校では、「特別の教科 道徳」を研究課題としています。本年度のテーマは「道徳性を高め、主体的によりよく生きる児童の育成～「対話」を通して考えを深める道徳科の授業の工夫～」となっています。今回の研究授業は2年2組、6年1組で行いました。



肘を伸ばしてしっかり挙手しています。帽子の色で発言回数がかかります。(2の2)



本を立て、背筋を伸ばして姿勢良く、筆読を聞いています。(2の2)



授業後の黒板です。学習したことが一目でわかるように工夫しています。(2の2)



姿勢良く、学んだことについて記述しています。さすが6年生です。(6の1)



TKBタイム (T・伝え合う K・考えを深める B・学ぶ合う 話し活動) (6の1)



授業の流れや児童の発言などが分かりやすく黒板にまとめられています。(6の1)



授業者が指導者に授業の改善ポイントなどを指導していただいています。



教員同士で授業の良かった点、課題点、改善点などを話し、まとめています。



まとめたものを全体の前で発表し、お互いに高め合えるよう努めています。

このように、教師が互いの授業を見合い、指摘し合う中で、さらなる指導力の向上、授業改善に努めています。